

Golden Age Project PREQ-73 Premier



取り扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

Golden Age Project / PREQ-73 PREMIER

「**GOLDEN AGE PREMIER**」は、高品質のビンテージ・スタイルの製品を、手頃な価格帯で提供する Golden Age Project(GAP)のハイエンド・ラインです。

「**PREQ-73 PREMIER**」は、シングル・チャンネルのマイク/ライン/楽器用のプリアンプに、3バンドのEQセクションを加えた、名機 **NEVE1073**」を高い再現性で完成させたレプリカモデルです。

ビンテージ NEVE が持つ普遍的なサウンド・キャラクターは、これまでに数えきれないほどのレコーディングで使用され、最も音楽を美しく彩ることのできるキャラクターを持っています。PREQ-73 PREMIER は、そのサウンドのエッセンスの全てを余すことなく再現した最上位機種です。Carnhill のトランスフォーマーをはじめ、最高品位のコンポーネントを採用、すでに評価の高い丁寧な設計と、細やかなサウンドチューニングが施されています。

本物のプリアンプと滑らかな EQ のコンビネーションは、最も完成された「アナログ・サウンド」を提供します。

USING PREQ-73 PREMIER

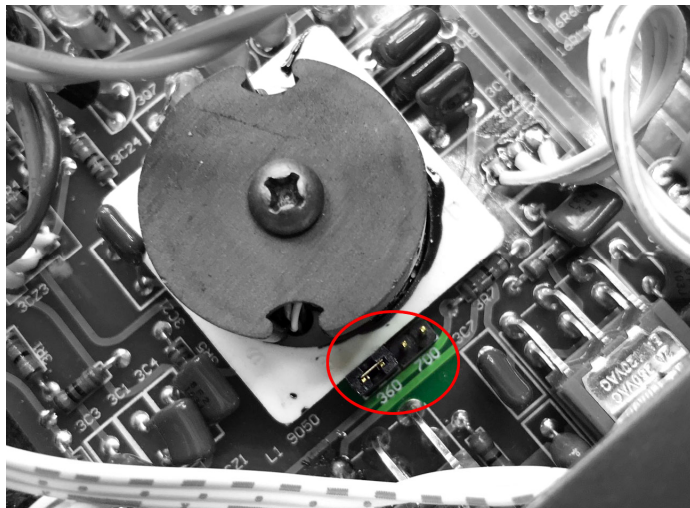
PREQ-73 PREMIER を使用して最大のパフォーマンスを引き出すポイントを上げてみます。

- AC24V の AC アダプター（付属）から電源を供給します
- フロントパネルの電源スイッチをオンにします
- XLR/TRS のコンボジャックに XLR またはフォンジャックを接続してライン、またはマイクのサウンドを入力します。マイクとラインソースは同時に接続して構いません。
- MIC/LINE のゲイン位置はゲインスイッチに表記されています。
- もし倍音を抑え、カラー少なくマイクの音を増幅したいときには、アウトプットのボリュームを最大位置付近で設定し、Mic/Line のゲインスイッチで全体のレベルを調整してください。
- もし倍音を多めに全体のキャラクターと色付けを強めに調整したい場合には、Mic/Line のゲインスイッチを高め

に、アウトプットのボリュームを絞り気味に設定してください。より強く入力ステージでドライブした、倍音がリッチなビンテージサウンドになります

- さらに強い色付けとキャラクターを実現するには、アウトプットのボリュームも同時に高く設定します。倍音と歪み感がさらに増し、力強い、ファットなアナログサウンドになりますが、同時に滑らかでスムーズな NEVE サウンドです。本機の後接続される機器に対してゲインが大きすぎる場合には、例えば SHURE A15AS (XLR タイプの切替式 PAD コネクター)などを利用してゲインを下げると良いでしょう。
- 楽器を入力するにはフロントパネルに 100k オームのハイインピーダンス楽器入力 (TRS フォン) が用意されています。この入力を有効にするには DI スイッチをオンにします。DI 入力はゲインスイッチのマイクポジションでゲイン調整します。リアパネルのマイクとライン入力も同時に接続された状態になります。
- コンデンサーマイクを使用するには 48V ファントム電源のスイッチをオンにしてください。機器を守るためにマイクの取り外しは 48V スイッチを操作してから 10 秒以上経ってから行ってください。
- LOW-Z スイッチをオンにすると、マイクの入力インピーダンスを通常の 1200 オームから、300 オームに変更します。この事でマイクのトーンとサウンドシェイプを変えることができるので、よりバリエーションの多いサウンドメイクを可能にします。また通常ですと全体のレベルも大きくなります。
- PHASE スイッチはサウンドの位相を反転させます。マルチマイクの録音時にたいへん有効です。たとえばスネアドラムの上下に 2 本のマイクを使用するときなどに片側の位相を反転させます。
- イコライザー/EQ を有効にするには、まず最初に EQ スイッチをオンにしてください。各セクションの周波数を選択してレベルを調整します。
- 本機を他の製品を含む電源装置などのすぐ近くで使用すると、入力トランスやインダクターなどの部品がハムノイズなどを拾ってしまう場合がございますので、本体と距離を離してご使用ください。
- ヒューズについて:回路上の 24V AC アダプター入力付近にヒューズホルダーがございます。適合ヒューズは **1.0A スローブロータイプ**です。もし電源が入らない場合にはヒューズが飛んでしまった可能性もございますので、ヒューズの交換が必要です。弊社までお問い合わせください。

- MF (中域) のイコライザー・セクションは、3つの周波数ポジションを変更できますが、向かって左側のポジションは内部のジャンパ設定にて、周波数を 350Hz または 700Hz に設定が可能です。工場出荷時には 350Hz に設定されています。

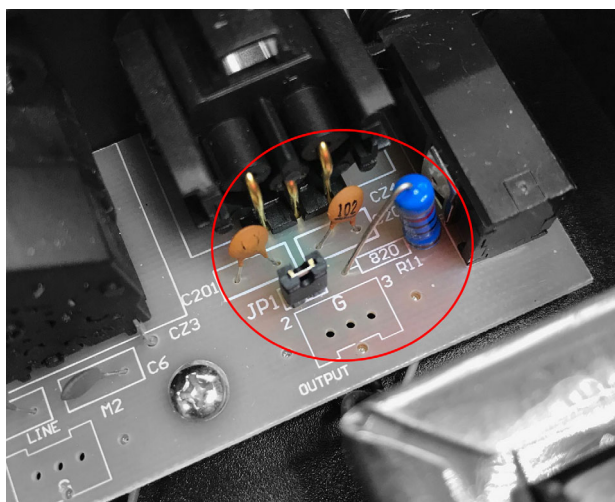


↑赤で囲った部分に周波数変更のためのジャンパピンがございます。

- 推奨負荷入力インピーダンスは 10k Ω 以上です。(デフォルト設定)

内部ジャンパーの設定変更で低いインピーダンスをもったビンテージ機器への接続にも対応します。その場合は、天板を外し XLR 出力ジャックの裏側にある JP1 ジャンパーを外してください。

※入力インピーダンスが 10k Ω 以上の機器に接続する場合は、必ず JP1 を装着 (デフォルト設定) してご使用ください。



Create Music
-Be Happy!